あさひりんごの郷（さと）便り No.23

Facebook　Instagram

あさひりんごの郷協議会　発行責任者　会長　鈴木　浩幸　E-mail : asahiringonosato@gmail.com
事務局　朝日町農林振興課内　〒990-1442 山形県朝日町大字宮宿1115　TEL (0237) 67-2114 FAX (0237) 67-2117

海外でのりんごプロモーション

22年目となる今年度は、台湾、マレーシア、タイ、香港、シンガポールの５か国に朝日町産りんごを輸出しています。このうちタイ、マレーシア、台湾に生産者と町職員が渡航し、朝日町りんごのプロモーション（販売促進活動）とともに町のＰＲ活動も行ってきました。また、マレーシアと台湾では鈴木町長によるトップセールスも行っています。



台湾での町長のトップセールス

タイでは、日系スーパーや高級デパートでりんごを販売しており、特に日系スーパーでは現地に住む日本人が多く来店していました。日本人の方は「いつも購入している」「先日買ったら美味しかったのでまた買いに来た」というリピーターも多く、一方で年々りんごの価格が上昇しているため、価格の安い小玉のりんごを選ぶ傾向にありました。

マレーシアでは、日系デパートや高所得者層が利用するショッピングモールなどで販売しており、マレー系や中華系、インド系、欧米系など様々なお客様が来店していました。青りんごをよく食べる文化があり、赤系りんごよりもシナノゴールド等の黄色や青系りんごをより購入するようでした。中国やニュージーランド、アメリカ産のりんごは約20円～430円/個で販売されているところ、朝日町のふじりんごは約430円～470円/個と品質・価格ともに海外産とは一線を画しています。

台湾では、高級デパート等で販売しており、お客様は日本のりんごの味が分かっているからか試食せずに、価格よりも見た目（品質）の良いりんごを購入する傾向でした。

どの国も試食後に「美味しい」といって購入する方が多く、リピーターを増やすためには、今後も試食販売が必要と感じました。また、お客様は高品質なりんごを求めているため、現地の事業者からは傷のあるりんごをできるだけ減らすよう依頼されました。どの国とも長年積上げてきた信頼関係があって可能となる輸出事業ですので、今後も品質で他県や他国に勝るよう関係者と対応していきます。

（レポート　農林振興課農政係）


タイでのプロモーション



袋や筒で売っている小玉な海外産りんご


人口と共にりんごの需要が増えているマレーシア